（第三種郵便物認可）　ちば日報スポー

岬 初出場優勝

駅伝 関東中学

第29回関東中学駅伝は5日、茨城県ひたちなか市の笠松運動公園内周回コースで行われ、女子（5区間、12・37キロ）は初出場の岬が41分30秒で優勝した。男子（6区間、17・86キロ）は我孫子が54分58秒で2位だった。

岬は3区中村が3人を抜いてトップに立ち、最後は2位に24秒差をつけた。逆井が12位、久寺家が16位、湖北が20位。

我孫子は2区米田の区間賞で2位に浮上し、後半区間も粘った。鎌ケ谷第三は1区根本が区間賞を獲得し9位。野田北部は10位だった。4番手でゴールした白山は第1中継所のたすき渡しで中継線を越えたため失格となった。区間記録は認められる。

根本1区制す

鎌ケ谷三

○…各校のエースが集う男子1区（3・16キロ）は鎌ケ谷第三の2年生、根本佳信が9分17秒で制した。中継所手前まで2位と競り合い、最後は懸命に腕を振って1秒差で勝利。「最後は足の回転数を上げようと（頭の中は）真っ白だった」と無我夢中での区間賞を喜んだ。

県新人大会の1500㍍覇者。スピードを武器に県駅伝でも1区区間賞に輝き、チームを初の関東大会に導いた。中学ラストイヤーとなる来年へ自信を付け「もっと精神を強くして、全国に出られるように頑張りたい」と力を込めた。

来年は全国優勝

岬・斎藤義昭監督の話　全員が設定通り走れた。4区でトップにいくつもりだったが、3区が想像以上に良かった。目標は高く、来年は全国優勝を狙う。

初優勝のゴールテープを切る岬のアンカー・鶴岡＝笠松運動公園

ヒロイン

3区中村が激走 岬

中学最後の大舞台で快走して見せた。岬は初出場ながら見事優勝。ヒロインは「メンバー唯一」の3年生、3区の中村美希だ。「優勝できると思わなかった。実感が湧かない」と興奮した様子で喜んだ。

1位と6秒差でたすきを受け、すぐに追い付こうと矢速覚悟で前半から突っ込んだ。それでも「ぴったりするくらい体が動く。今までで一番いい」と足は止まらなかった。ラスト500㍍で先頭を逆転し、勢いよく中継所へ駆け込んだ。

最上級生の走りは後輩を後押しした。4区中島心咲は「さらにリードを広げる」との思惑通り区間賞を獲得。アンカーの鶴岡美来も区間2位の走りで2位に24秒差を付け、最後は両手を広げてフィニッシュテープを切った。

就任4年目で34歳の斎藤義昭監督の下、県駅伝を初制覇。1年生で1区を務めた石川舞桜など下級生に豊富な戦力がそろい、来年は全国大会での活躍が見込める布陣。鶴岡は「一人一人の力を上げて、全国優勝がしたい」。昨年は県19位だった新鋭校は早くも次の高みを見据えた。

女子成績

（5区間、12・37キロ）

①岬　41分30秒
（石川舞桜、広田真央、中村美希、中島心咲、鶴岡美来）

⑫逆井　43分17秒
（中島萌衣、栗田結衣、櫛永光夏、日高葵、井口純）

⑯久寺家　43分38秒
（横山詩、森政彩美、坂本翼、吉田茉緒、中原羽菜）

⑳湖北　44分06秒
（本澤美桜、川村菜々美、肥後とれの、大塚夢亜、鈴木沙和）

【区間賞】
▽4区（2・09キロ）
中島　心咲（岬）　7分01秒